NEWS RELEASE

環境負荷低減の取り組み

セブン&アイHLDGS.
株式会社 セブン-イレブン・ジャパン
2017 年 5 月 26 日

セブン-イレブンの「サンドイッチ」包材で環境負荷を低減

フィルムを薄肉化し「ボタニカルインキ※」を使用

－5 月 30 日（火）よりリニューアルする「サンドイッチ」に採用－

株式会社セブン - イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋一樹）は、5 月 30 日（火）より、全国のセブン - イレブン（4 月末現在：19,453 店）で販売するオリジナル「サンドイッチ」の包装に、CO2 排出を抑えた素材を使用いたします。

今回、「サンドイッチ」を包むフィルムについては、防湿性や耐久性を維持しながら従来比で約 5%薄くすることができました。また、印字インキに植物由来の「ボタニカルインキ※」を使用することで、CO2 の排出削減につなげております。

セブン - イレブンでは、今後も「近くて便利」なお店を目指すとともに、社会や環境などあらゆるステークホルダーに配慮し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

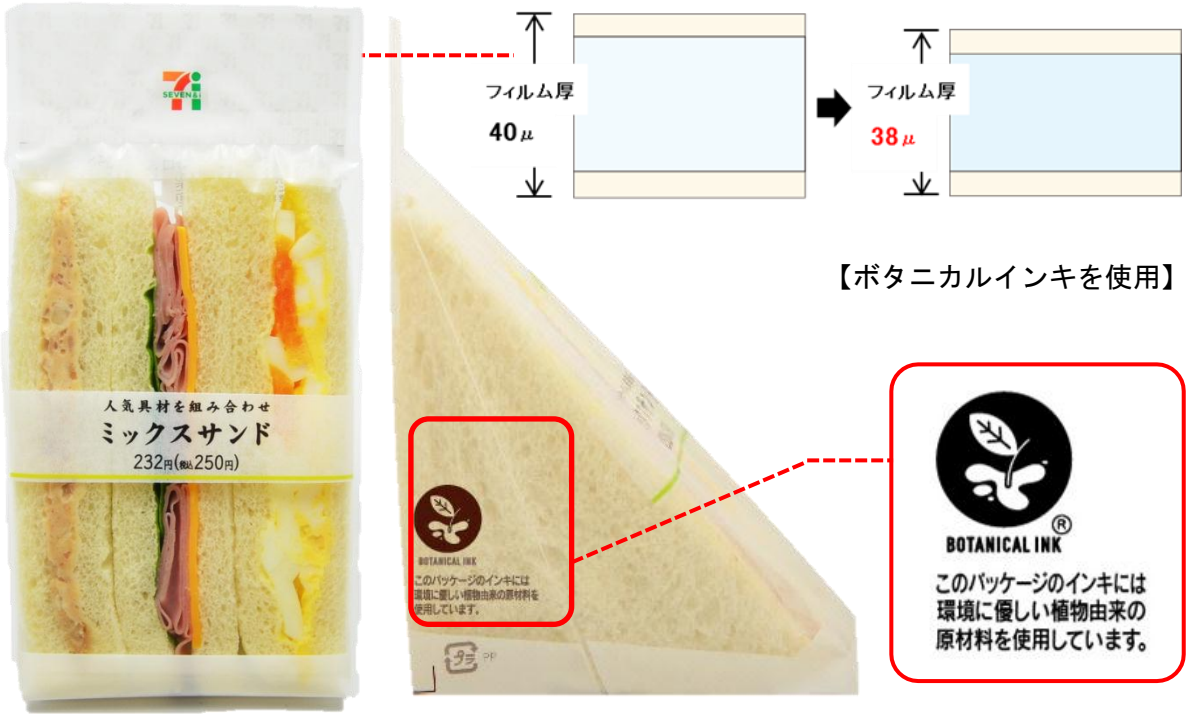
※ボタニカルインキ：樹脂を従来の石油由来から、一部植物由来（ボタニカル）に置き換えたインキ

≪概要≫

◆使用開始　：2017 年 5 月 30 日（火）販売分より順次切り替え
◆対象商品　：セブン - イレブンオリジナルのサンドイッチ全般
※一部商品（ボックスサンドなど）を除く

≪新パッケージ例≫

【フィルム厚を 5%削減】



【ボタニカルインキを使用】

取り組みの効果：CO２排出量 166t/年 削減（従来比）

以　上